

教科等研究会（中学校総合的な学習の時間部会） 令和元年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる探究活動の在り方
～生徒一人ひとりが輝く「分かる・できる」「楽しい」授業づくりを通して～

2 研究経過

期日	人数	活動内容	場所
6/14(金)	8	研究テーマ・計画・組織等協議 (半日)	甲佐中学校
8/2(金)	6	①地域で育てた食材を使って料理体験 (一日) ②地域のよさを生かし事業展開されている方の講話	七滝中央小学校
10/10(木)	7	研究授業・授業研究会 (半日) 単元名：「仕事調べ」 授業者：教諭 荒牧 浩一	益城中学校
1/28(火)	9	研究のまとめ（実践レポート研修） (半日)	御船中学校

3 研究の概要

(1) 研究の内容

これまで本部会では、総合的な学習の時間の目標に焦点を当て、「生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる探究活動の在り方」を、研究テーマに設定して取り組んできている。また、学習指導要領では、体験したことや収集した情報を、言語により分析したりまとめたりすることを、問題の解決や探究活動の過程に適切に位置付けることの大切さを述べている。本部会では、このような言語活動を計画的に設定し、「分かる・できる」「楽しい」という学習への満足感を高めることをめざし、副題に取り入れて研究を推進していくこととした。

① 学習指導要領趣旨理解の研修

本年度も、部会員の構成が大きく代わったため、学習指導要領の改訂の趣旨や要点・目標・内容に関する改善点と学習指導の展開例を確認するとともに、次期学習指導要領の方向性について研修を実施した。

学習指導要領の改訂の趣旨や要点・目標・内容に関する改善点については、学習指導要領から必要な内容を抜粋して、開設当初からの流れと課題点に対する具体的な改善点を確認した。

具体的な学習指導の展開では、「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）」を使って、以下のことについて協議した。

- ア 探究的な学習
- イ 協同的な学習
- ウ 体験活動の重視
- エ 言語活動の充実
- オ 評価の観点・方法

② 単元計画作成と探究的な活動の「整理・分析」段階の演習

各学校の単元計画作成状況・各教科との関連表を確認し、各学校で本年度作成してもらった単元の見通しを持ってもらった。探究的な学習活動や協同的な学習活動については、具体的な活動や活動上の課題点を出し合い、自分の学校の状況と比較してもらい、課題解決を行った。

探究的な活動の演習では、「整理・分析」段階でどのような活動ができるのか、どのような対話、アドバイスによって学習が深まるのかを全員で考えた。グラフ化、ベン図、座標軸、ブレインライティング、ピフォー・アフターなどの技法を学ぶことができた。

③ 地域で育てた食材を使つての料理体験，地元こだわりの事業をされている方の講話（小学校部会と共同開催）

ア 料理体験

昨年度より企画していた七滝中央小学校の校区で豚の飼育・販売を行っている清村徹さんのご指導のもと，豚肉を使ったソーセージ作りを実施した。まず、「食品を扱う際に衛生上気を付けること」「ソーセージ作りに適した環境づくり」などの話があった。

身支度を調べて調理室に移動し、本日作る「添加物不使用のスパシーソーセージ」の作り方と使用する道具の説明があった。6班に分かれそれぞれが率先して、ソーセージ作りを行った。

ソーセージ作りを進めていく中で、「肉を詰める道具は普段使っているものなのか」「スパイスの配分はどのようにするとよいのか」など先生方から多くの質問が出され、清村徹さんからは、的確な回答をいただいた。作業もスムーズに進み、初めてソーセージを作る先生方も驚きや発見を感じながら料理をされていた。料理が完成し、参加者全員で会食した。会員の感想は、以下の通りである。



【調理の様子】

【出来上がった料理】

初めて行う作業ばかりでとても難しかったです。丁寧にわかりやすく教えていただきました。どの工程にもよりいいものを作りたいという工夫がされていて熱意が感じられました。細かい温度管理と力のいる仕事で、普段食するソーセージがこうやって作られているかと思うとありがたみを感じました。ハーブの選び方によって味が全然違うものになり、楽しんで食べ比べができました。実際、自分自身がやってみる大切さを改めて感じました。子どもたちに体験させたら、目いっぱい楽しみながら学んでいけそうだなと思いました。このような体験ができるよう計画等を考えてみようと思いました。

イ 講話

引き続き、清村徹さんから講話を行っていただいた。「七滝中央校区に生まれ、育ち、いったん地元を離れ就職し、また地元に戻って養豚の仕事をしていること」や「飼育に関すること」「流通に関すること」「経営に関すること」「販売に関すること」などを話してくださった。特に餌に乳酸菌や納豆菌を混ぜ「免疫力を高めて薬を使わない」ことについて詳しく話され、安心安全な食べ物を届けるための思いを熱く話された。また、七滝中央小にお子さんが通われていることから、七滝小学校での総合的な学習の時間にも積極的にゲストティーチャーとして協力していらっしゃることも紹介された。「清村さんの生き方」や「地域に対する思い」に関する質疑応答もなされ熱がこもったものとなった。



【質問に答える清村さん（右）】

仕事上の大切なことやこれからのことなどを含めて清村さんの温かい人柄に触れました。清村さんが地元をいったん離れ、戻ってきた理由が「地元が好きだったから」と言われ、清村さんのように地元を誇れる子どもを育てていきたいと思いました。総合的な学習の時間が盛り上がるのが、自分の住む地域を盛り上げることに繋がればいいなと思いました。

(2) 成果と課題

成果

- ・新学習指導要領の先行実施により、全体計画の考え方や様式が大きく変わったことをふまえて、各校での全体計画の見直し・作成が行われた。
- ・養豚は生徒が誇りに思える産業であることを知ることができた。また、地域の飼育に関わる人たちと直接交流することで、学校での地域学習の足がかりを得ることができた。
- ・地元でこだわり地域で養豚をされている方と共に料理をすることで地域の方との交流ができるなど、地域の方々子ども達の教育のために何か尽力したいという思いを知ることができた。
- ・各学校で地域人材の活用モデルとすることができた。
- ・総合的な学習の時間の進め方に見通しを持つことができ、探究的な活動の流れをつかむことができた。

課題

- ・新学習指導要領の目標と内容を網羅しながら、単元計画を見直す必要がある。
- ・どの学校も固定化された総合的な学習の時間の計画や体験学習になっているが、担当者が代わると活動が元に戻ってしまう。地域学習の連続性・発展性がなされていない。
- ・学習単元計画の完全作成と年間計画にリンクさせた探究的な学習の展開を計画段階として完成させる必要がある。
- ・「何を学ぶのか」「何ができるようになったのか」など子ども達の自己評価、相互評価、教師側の評価についても計画的・継続的に実施する必要がある。

4 実践事例

(1) 授業研究会の概要

単元名「仕事調べ」 授業者：益城中学校 教諭 荒牧浩一

本授業は、1年生の進路学習「情報収集・まとめ・表現」の授業であった。

① 自評

- ・1年生では、「仕事調べ」「職場訪問学習」を中心に、仕事に対する幅広い視野と場面を知り、将来の考え方を学ぶ。2年生では、「職場体験学習」を中心に実際の仕事を体験することによって、自分に生かしていこうとする態度を学んでいく。3年生では「上級学校説明会」を中心に、自分の将来や進むべき道を考えていく。中学3年間を通して、自分の一生を支える仕事に向けて、将来に向けて、いろいろな考え方ができるようにしていきたいと考え、今回の単元を構成した。
- ・調べる仕事の分担、調べる作業、仕事についての資料集め、内容の精選、構成、下書き、清書と進んでいった。今回のクラスでの発表会を経て、最終的には全員が紙面発表をしていく。仕事の内容、特徴・進路、進むべき方向、試験や資格、必要な免許、能力や条件、性格、適性、収入、休み、勤務時間、仕事の行程、詳しい仕事の流れ、仕事のやりがいや苦勞する面、すごいところ、身近な人にインタビューして聞いたこと、自分の感想、自分の思いや気づいたことなどを、生徒が工夫してまとめたものを、発表させた。
- ・今回は、インフルエンザが流行して欠席が多く、予定の班での発表が難しかったため、班を組み直しての班活動だった。初めての班での発表だったけれど、生徒たちは頑張っていた。

② 質疑応答

- Q 今後のことについて、紙面発表を、どのように行っていくのか。具体的に教えてほしい。
- A 文化発表会の時に、全員のレポートを掲示する。自分の調べている仕事について学んだら他の人が調べた内容も気になってくる。一人ひとり違う仕事について調べているので、たくさんの種類の仕事について知ることができるようにした。
- Q 調べている仕事の種類は、一人ひとり違ったようだがどのように決めているのか。
- A 「職業分類一覧表」（「日本標準職業分類」（平成21年度12月改訂））を参考にして選択させた。大分類・小分類とあるので、小分類で希望通りにならなかった人は大分類にはなるようにした。バランスよくいろんな職種に、より多くの職業について知ってもらおうという目的で行った。
- Q 急な班だと思えないくらい、生徒たちの発表の聞く姿勢や発表する態度など温かい雰囲気があった。学びも深まったと思う。生徒たちの感想を聞かせてほしい。

A 「仕事をする人には自分の調べたところと共通する思いがあった。」「仕事調べを通して、仕事に対する友達の意見を聞いて友達の知らない一面が知れた。仕事を皆がどういう風に思っているかなどを知りたい。」「自分の興味のない仕事もあったけれど、発表を聞いたら興味がわいてきた。他の仕事についてもっと知りたい。」などの感想が見られた。文化発表会では興味をもって紙面発表を読む生徒たちの姿が期待できる内容となり、よかった。

(2) 学習指導案

① 本時の目標 自分の調べた仕事をクラスで紹介することで、内容や考え方を出し合い共有し考えを深める。

② 本時の展開

避	学 習 活 動	指導上の留意点	備考
課題 をつ か む 5 広 げ る ・ 深 め る 35 ま と め る 5	1 仕事の分類を知る。 ・自分のレポート(新聞)を見て、大まかな分類を確認する。	○自分のポ-ト(新聞)を用意しておく。 ○一般的な仕事の分類を紹介し、自分の調べた分類を確認させる。	ポ-ト(新聞) 資料1 PCテレビ
	2 本時の学習のねらいを知る。 ・自分の調べた内容を確認する。	○学習の進め方を提示し、流れをつかませる。 ○自分の仕事内容を一度黙読させる。	ワークシート
	3 班でレポート(新聞)を交換し、黙読して評価し、発表者を決定する。 ・班の仲間と交換し目を通す。 ・質問をしあう。 ・班員のレポートを評価する。 ・班の代表者を決定する。	○4人組の班をつくり流れを確認させる。 ○一人1分で交換できるようにタイマーを設定する。(計4分) ○評価項目に得点をつけ代表を決定させる。 ○仕上がりや発表力に配慮し、班の代表を決定させる。	班(4人組) 評価①(観察・ワークシート) ワークシート
	4 班の代表が自分のポ-ト(新聞)を前に出て発表する。 ・発表する。(実物投影機) ・質問を受ける。 ・拍手喝采する。	○発表例を教師が実演する。 ○実物投影機を使って、発表させる。 ○質問の時間、交代の時間を含めて、一班3分の時間をとる。10班で計30分 ○質問を一つ以上受け付ける。鋭い質問や、温かい質問に限らせる。 ○発表者が発表してよかったというような雰囲気させる。	資料2 実物投影機 評価②(観察・ワークシート)
	5 最優秀を決める。		
	6 本時のまとめをし、感想を書く。	○挙手でざらりと決める。時間はかけない。 ○班を解体し、何人かにあてて感想を聞く。 ○学んだことや感想をしっかりと書かせる。	評価③(ワークシート)

③ 本時の評価

- 評価基準・・・①班員のレポート(新聞)を誠実に評価しているか。
②発表をしっかり聞き、理解しようとしているか。
③学んだことや感想を書いて、学習を深めようとしているか。
- 評価方法・・・①②観察・ワークシート ③ワークシート
- 評価時期・・・①②授業中 ③授業後